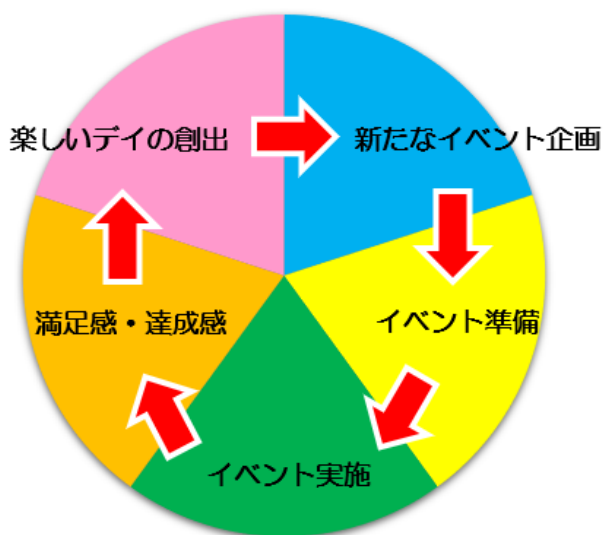


# 要介護度の維持・改善に向けた イベント&レクリエーションの取り組み 生活リハビリ静岡中央デイサービス

所長：藤原 敬久  
作成者：岡田 菜々美  
理学療法士：土屋 緑

生活リハビリ静岡中央デイサービスでは、お客様の要介護度の維持・改善に向けた取り組みとして様々な事に取り組んでいますが、今回はその中の1つである「**お客様を巻き込んで行うイベントへの取り組み**」にフォーカスを当てて紹介いたします。まず、イベント取り組みの流れとしては下記の図のようにサイクルをまわしています。

## イベント取り組みのサイクル



① <b>新たなイベント企画</b>	2~3ヶ月先のイベントを決め、会議や資料で情報共有する。
② <b>イベント準備</b>	サービス利用中にお客様にもお手伝いをさせていただき、役割や分担作業で準備を行う。
③ <b>イベント実施</b>	当日のイベントをお客様全員参加で、皆さんに楽しんでいただく。
④ <b>満足感・達成感</b>	準備したことがイベントに反映されることでモチベーションアップに繋がる。
⑤ <b>楽しい日の創出</b>	一体感を持って職員やお客様全員で楽しいデイを作りあげて、活気ある施設になる。

お客様に役割を持っていただき、社会参加や貢献、成功体験に繋がります。楽しいデイサービスにまた通いたいというポジティブな気持ちを持ってもらいます。継続的にデイサービスを利用して、その中でリハビリ要素を含んだ活動に意欲的に参加する事で良い循環が生まれ、承認欲求が満たされ、やる気や自信といったモチベーションアップ、心理的・身体的な支援で要介護度の維持・改善にも繋がります。

次ページより弊社や当デイサービスでの取り組みについての詳細を、資料や写真をもとに説明します。

# ●職員の資質向上・モチベーション維持に関する取り組み

まず、どのようなイベントを企画・準備していくかスケジュール調整をしていきます。やりたい事や実施予定のイベントを1年間分ある程度考えておき、意見交換を行います。弊社で使用している重点項目シートに、取り組む内容について記載し、見える化します。2~3ヶ月前からイベントの準備に取り掛かり、職員間で役割分担を行い、全職員がイベントに向けてベクトルを合わせ、準備の中でお客様にお手伝いをさせていただきそうな工程をピックアップして、情報共有や意見交換をしながら企画を練ります。話し合いの内容をもとに企画書や指示書を作成して、共通認識を持って進捗確認を行っていきます。

## 【イベント年間スケジュール】

2022年度			
4月	初旬	花見	桜祭り
	中旬	桜祭り えびせん	
	下旬		
5月	初旬	子どもの日 だるま落とし	母の日 屋外(宇奈泊岸)
	中旬	母の日 カーネーション	
	下旬	映画鑑賞(美空ひばり)	
6月	初旬		映画鑑賞&駄菓子屋 屋外(アジサイ)
	中旬	父の日 ハンドタオルor扇子	
	下旬	中央レストランすこやか	
7月	初旬	七夕	七夕、カキ氷 流さないそうめん 屋外(宮本神社)
	中旬	カキ氷	
	下旬	ざるラーメン	
8月	初旬		スイカ割り 居酒屋風夏祭り
	中旬	スイカ割り	
	下旬	北海道イベント	
9月	初旬		敬老ウィーク 花火鑑賞会&ミニ喫茶店 トントン相撲大会
	中旬	敬老の日	
	下旬	映画鑑賞(黄色いハンカチ)	
10月	初旬		運動会&焼き芋 ハロウィンウィーク
	中旬	秋の味覚運動会	
	下旬	ハロウィン	
11月	初旬	うどんでDON☆DON	秋の映画鑑賞会 ラーメン
	中旬		
	下旬	いなり寿司	
12月	初旬	魔法xおでん	おでんドラフト クリスマス会 忘年会
	中旬	クリスマス	
	下旬	忘年会	
1月	初旬	新年会・正月遊び	新年会&初詣 バター
	中旬	初詣	
	下旬	餅汁	
2月	初旬	節分(納豆)	節分 沖繩 バレンタイン
	中旬	バレンタイン	
	下旬		
3月	初旬	ひな祭り	ひな祭り チーズ
	中旬	缶詰orキャンプ	
	下旬		

## 【重点項目シート】

### ＜チームでのテーブルリハビリの提供と生活リハビリへの参加について＞

◆「実施計画」(予定) ※月末までに次月計画を作成	
サービス品質	①お客様へのテーブルリハビリの提供と生活リハビリへの参加について。(チーム全員で提案)
	②以前と比べるとテーブルリハビリの活動低下やお客様の空き時間が生じてしまう。
	10月中旬からは内部監査も終わり、再度イベントに力を入れられるため、お客様と作る工程も多いので生活リハビリ要素も兼ねて取り組んでいく。
	③④9月28日のチーム会議にて共有。全職員で取り組む。
	⑤⑥9月28日に10月と11月イベントの役割分担が決定済み。イベントの役割には司会者単体もグループもあるため、飾りつけなどは協力して取り組むように職員は共有認識済み。
	⑦10月にお客様と行える分組 ハロウィン看板・飾り・藤原・山田/ハロウィンゲーム…杉山・馬場
	⑧11月にお客様と行える分組 上旬イベントの看板・飾り・岡田・土屋 下旬イベントの看板・飾り・馬場・喜多/ゲーム岡田・杉山
	この役割担当者が中心となり、お客様と生活リハビリでテーブルハ要素を入れて準備を進めていく。
	まずは10月末イベント準備が先なので、お客様に役割を提供していきながらお客様にもイベントへのモチベーションアップに繋げていく。
	その日に5名以上のお客様にイベント準備への参加ができた見える化共有カレンダーに赤〇をフロア職員が付けていく。お客様への生活の質向上のサービス品質向上を計画的に取り組んでいく。
SV コメント	具体的な取組の記載ありがとうございます。是非お客様と共に楽しみ、時間を作り上げていただければと思います。

(2023.11~)

### 重点項目シートとは

デイサービス職員がチーム一丸となって目標に対して計画を立てて、目標達成をしていく物。チームで共有と取り組みを通して達成度 100%を目指していく。

### 今回の項目ご紹介について

サービス品質についての項目で【テーブルリハビリの提供と生活リハビリへの参加について】を大きなタイトルに掲げました。理由は、コロナ禍前にはお客様の各テーブルでテーブルリハビリの提供(かるた・言葉作りゲーム・お箸トレーニング など)を同じ席の方と一緒に参加していただいていたのですが、コロナ禍により各テーブルにパーテーションが置かれ、個数もお客様の人数分のご用意が難しく、今まで出来ていたテーブルリハビリの実施が難しくなっていました。

今まで出来ていた当社の売りでもあります、生活リハビリに繋がる取り組みを再開させようとしてチームで計画して取り組んでいこうと考案致しました。

## 【指示書】

お客様に楽しんでいただく為に、まず働いている職員が楽しむことが大切だと考えています。イベントの企画・準備・実施を通して、職員の考える力や自律性の向上、加えてスキル向上に繋がっています。

また、良い取り組みや実績に対して社内の表彰システムがあり、取り組みへの頑張りや結果が出れば表彰という報酬効果によって、社員のモチベーションアップや介護サービスの質の向上にも繋がりが、職員にとっても「やりたいこと」が叶えられて良い循環が生れています。



# ●生活リハビリ・テーブルリハビリとは

## アクタガワの **生きがい** を高める **生活リハビリ** とは

**01** 生きがい を高める目標設定

ご本人が「難しいと感じてしまっていること」と「今できること」を聞き取り、「望んでいる生き方」を職員と一緒に見つけます。その「望んでいる生き方」を目標にしてリハビリに取り組むことで、お客様の生きがいを高めることができると考えます。

**02** 結果にコミットする多職種連携型チームアプローチ

お客様のご希望や身体機能・生活状況・家屋環境・家族背景を踏まえた上で目標を立て、理学療法士・作業療法士、看護師、介護職員とともに、運動や活動を通して自己実現の達成を目指します。

お客様の目標に対して **多職種連携** による支援

お客様の目標に対して、理学療法士や作業療法士、看護師、介護職員、ケアマネジャーなど多職種が一丸となって支援していきます。

<b>理学療法士 (PT)</b> 目標達成に向けて個別に身体状況や生活環境などを確認し各お客様に適したプログラムを提案・レクチャーします。	<b>作業療法士 (OT)</b> 目標達成に向けて個別に身体状況や生活環境などを確認し各お客様に適したプログラムを提案・レクチャーします。	<b>介護職員</b> PTやOTが作成したプログラムの実施や自立支援など、リハビリ視点を取り入れた日常生活の支援を行います。
<b>看護師</b> 服薬管理や医療記録での情報共有など、お客様の健康管理及び医療視点でのリスク管理を行います。	<b>目標</b>	<b>ケアマネジャー</b> お客様の目標設定や生活環境の調整など、お客様毎の身体面・環境面から生活をコーディネートします。

弊社では「生活リハビリ」として、お客様の「生きがいを高められる目標」を設定し、多職種連携による支援を行っています。

理学療法士などの専門職が現在の身体機能や認知機能について評価を行い、お客様の状態に合わせた個別プログラムを作成し、理学療法士、看護師、介護職員が実施しています。

「歩いて買い物に行きたい」「庭の花の手入れが出来るようになりたい」といった運動機能面の目標に対しては、訓練ベッド上やマシンを使用しての関節可動域訓練や筋力強化訓練、動作訓練など一般的に【リハビリ】【訓練】と呼ばれるプログラムがあります。他にも、レクリエーションやイベントの中での歌遊びやゲーム、公園や施設への屋外歩行訓練、買い物などデイサービスでの生活の中に組み込まれたプログラムもあります。

また、「最近物忘れがひどくなって」「色々な方とお話しがしたい」という認知機能面、社会参加面の目標に対しては、**テーブルリハビリ**、『歩いてスマイルクラブ』活動への参加をプログラムとし、個人ではなく職員や他のお客様と一緒に楽しみながら取り組みます。

特に当デイサービスでは、毎月のイベント準備を**テーブルリハビリ**としてお客様に参加していただいています。**テーブルリハビリ**とはテーブル上で行うリハビリメニューで効果としては①認知機能の活性化、②上肢機能・体幹機能の向上、③達成感・自己効力感の向上、④社会参加への促進が考えられます。

当デイサービスには職人をされていた方、力自慢の方、絵を描いたり塗り絵が趣味の方、レース編みや小物作りが好きな方、誰かのために手伝えることが好きな方など、様々な趣味や特技をお持ちの方がいます。そのような方々が中心となり、周りの方と会話を楽しみながら、楽しく取り組んでくださっています。

## 運動機能面にアプローチ

### 個別プログラム

理学療法士・作業療法士がお客様の目標や状態に応じて、個別プログラムを作成し、介護職員が日々のケアの中で実施します。デイサービスでは介護職員のプログラムに加え、理学療法士・作業療法士や看護師が個別機能訓練で実施するプログラムを作成します。

例えば

**目標**

- 趣味(手芸)の再開
- 手芸の材料を買いに行ける。
- 作品を完成させる。

<b>看護師</b> ・マシントレーニング ・歩行訓練	<b>理学療法士・作業療法士</b> ・ストレッチ、筋力トレーニング ・障害物の跨ぎ運動	<b>介護職</b> ・レクリエーションで手芸の練習 ・物を持った状態での歩行練習
-----------------------------------	--	---

マシンで足の開閉運動を10回×2セット行いましょう。

タオル運びで物を持った状態での歩きを安定させましょう。

このような個別プログラムを日々の生活の中で実践していきます。

## 認知機能面にアプローチ

### テーブルリハビリ

テーブルリハビリとはテーブルの上で行える、主に上肢機能(手指や腕の動き)・体幹機能・認知機能に対するリハビリメニューの事です。一般的に作業療法として行われる日常生活に必要な動作・作業のトレーニングが手軽に行う事ができます。

①理学療法士及び作業療法士が監修しています。  
 ②役割を持つ、社会参加の促しなど作業療法の視点を大切にしています。  
 ③全て消毒できる素材を使い、感染対策にも配慮しています。

<b>テーブルリハビリの効果</b> 認知機能の活性化 リハビリ物品の作成(パズルの色塗りなどから関わって頂く事で言語理解能力や遂行機能などの認知機能の活性化を図ります。	上肢機能・体幹機能の向上 お客様の状態に応じてリハビリ専門職員が物品を選定します。それにより効率的に上肢・体幹機能の向上を図ることが出来ます。	達成感・自己効力感の向上 ご自身が作成したリハビリ物品を他のお客様に活用頂くことで達成感を感じたり、役割を見出すことができ、自己効力感を高める事が出来ます。	社会参加への促進 テーブルリハビリを通して、役割が生まれ、他のお客様や職員との交流も広がり、社会参加を促します。
---	--	---	---

# ●お客様の事例紹介

当デイサービスをご利用中のお客様で、目覚ましい改善が見られた事例をご紹介します。  
弊社では独自に生活リハビリ大賞という表彰を毎年実施しており、数ある事例の中から昨年度は当デイサービスのお客様である、〇様が大賞を受賞されました。表彰式の際には涙を流しながら喜んでくださり、現在も元気にサービスを利用しています。

## アクタガワの生活リハビリ

このたび当施設のご利用者様が**生活リハビリ大賞 努力賞の優秀賞に選ばれました!** その素晴らしい生活リハビリの成果や取り組みをご紹介します。※生活リハビリ大賞は個人の生活リハビリでの成果などに対し毎年、当社の複数施設から大賞を選出し表彰しています。



【基本情報】80代・女性  
【趣味】針仕事、編み物、刺し子などの手作業  
【既往歴】両側変形性膝関節症、高血圧



### 悩み・ニーズ

体力が落ちてしまい、歩くのも大変。膝が痛い。

### 目標

家族と以前のように外出が出来るようになる。デイのフロア内を四角杖で安全に移動できる

### 経過 & 成果

9月

生活リハビリスタート

介護度 要介護3  
握力 右12.7kg 左12.5kg  
5m歩行速度 26.37秒

10月

・体力・筋力低下と膝痛により一人での歩行が困難。  
・四角杖使用スタート!

約3か月

12月

・体力・下肢筋力向上により立ち上がりやスムーズに!  
・四角杖歩行も安定性UP。

要介護3 維持  
右13.4kg 維持  
左11.6kg 維持  
8.66秒 向上

★一歩が大きくなり、歩行速度が大幅UP!  
★次の目標が「杖を外して歩きたい」にステップUP!

歩く為には助けが必要でした。



10月 この頃の取り組み

- ◆PTプログラム
  - ・下肢の可動域訓練
  - ・立ち上がり動作・歩行訓練
- ◆介護職員の関わり
  - ・杖歩行の練習
  - ・ケアリラク
- ◆ご本人の取り組み
  - ・自宅で娘様、お孫様と歩行練習
  - ・生活リハビリクラブで下肢の運動

12月 この頃の取り組み

- ◆PTプログラム
  - ・両側膝の可動域訓練
  - ・杖なしでの歩行訓練
- ◆介護職員の関わり
  - ・杖歩行の見守り
  - ・運動レク・ケアリラク
- ◆ご本人の取り組み
  - ・自宅での歩行練習を継続
  - ・ご利用時に自ら歩行練習

杖での歩行が安定し、イベントにも楽しく参加!



### 生活リハビリの成果

最初は立ち上がっても痛みにより膝が伸びず曲がったままの歩行でした。四角杖も使い始めたばかりは慣れず、職員の介助を要していましたが、12月の測定時には、歩行時に膝が伸び、歩行も見守りで可能になりました。



「だいぶ歩くのが上手になったでしょ!杖も使えるようになってきたよ。家でも家族と一生懸命に練習してるからね。早く杖無しで歩けるように、頑張って練習するよ!」

笑顔が素敵です

お手伝い



調理レク



秋の味覚探し



ざるらーめん盛付



クリスマス



ご利用当初は持久力・筋力ともに低下が著しく、歩行も常に職員の介助を必要としていました。当時、入院中だったご主人様看護を目標に「私が元気にならなくちゃ!」とデイサービスとご自宅の両方で歩行訓練に意欲的に取り組まれていました。

ちょうど一年前、生活リハビリ大賞を受賞したころには徐々に歩行が安定し、施設内を自由に移動出来るようになってきました。すると〇様の中で「〇〇しなきゃ!」から「△△したい!」と気持ちの変化が見られてきました。

イベントの準備をしている職員に「私も手伝おうか?」と声を掛けてくださったり、施設内の装飾や看板を見て「次は何をやるの?」「いつやるの?」と興味を持ってくださるようになりました。今では当日のイベントのゲームへの参加はもちろんのこと、イベントの準備には常に参加して下さり、時にはアイデアを出して下さることも増えてきました。

「ご家族様のために」と思って取り組まれていた頃の〇様も素敵でしたが、今は「自分の楽しみ・生きがいのために」色々なことに取り組まれている〇様もとても素敵です。生活リハビリは身体機能や認知機能面だけではなく、お客様の心身機能面にも良い影響を与えていると考えられます。

# ●デイサービスでの1日の過ごし方・施設紹介

## 生活リハビリ静岡中央 デイサービスセンター

1日のご利用の流れ  
をご紹介します！

## タイムスケジュール

過ごし方のほんの一例です。



**collect** 9:30までに施設へ到着する様にご自宅へお迎えに伺います。

お迎えの時間にお待ちください。  
リフト付きの車もあり、車椅子でも安心です。送迎中はドライブ気分で見守りの様子を見たり季節の景色をお楽しみください。



**check** 9:30～ 健康チェック

到着後は毎回、血圧・体温・脈拍を測り、健康状態をチェックします。健康状態を定期的に記録できるので通院時の参考にもご利用いただけます。



**conditioning** 9:45～ 入浴 機能訓練 趣味活動

**入浴**… プライバシーに配慮した個浴と、重度の方でも安心の機械浴。  
軽介助や全介助、見守りのみなどご希望や状況に応じて対応します。  
入浴に抵抗や不安がある方もお気軽にご相談ください。



**機能訓練タイム**… 機能訓練指導員と身体を動かして、活動的な毎日へ。

脳トレ・テーブルリハなどの認知症予防へつなげる指先を使ったりハビリもご用意。



手打ちそば

**理学療法士を常に配置し**  
生活リハビリは個別プログラムに沿って生活のさまざまなタイミングで行っています

**lunch** 12:00～ ランチタイム

栄養バランスを考えた昼食です。イベント時にはおでん、お寿司、スイーツバイキングなど選ぶ楽しさも味わえます。



フラワー工作

**recreation** 13:30～ レクリエーション カルチャー教室

**レクリエーション**… 屋外機能訓練やミニゲームなど活動的に過ごします

**カルチャー教室**… 専門講師によるカルチャー教室で知的好奇心を刺激。

**relax** ケアリラクゼーション… 生活リハビリで体を動かした後はフット&ハンドリラクゼーションでリラックス



ケアリラクーム

15:00～ おやつ

15:45～ 歩行訓練 クラブ活動の足腰健康クラブに参加。理学療法士の指導のもと、共通の目的を持って皆さんで楽しく取り組める運動リハビリプログラムをご用意しております。歩くことへのそれぞれの目標へ寄り添います。



書道

**return** 16:35～ またのお越しをお待ちしております。

ご自宅まで送迎車でお送りいたします。  
今日のご様子などを記録した連絡ファイルをお渡しします。  
気になることがあれば送迎時に※ご家族様へお伝えしています。



※急を要する場合は随時ご家族様へご連絡させていただきます。

午前中の全身体操後の時間帯や午後レクリエーション開始前の時間帯やおやつ後、歩行訓練後の時間帯をメインに生活リハビリやテーブルリハビリ、イベント準備を行っています。隙間時間を活用することで、手持ち無沙汰な時間を少しでもなくすることを意識し、無理のない範囲でお客様に参加をしてもらっています。自発的に「何かやる事ある？お手伝いする事ある？」と職員に声を掛けてくださるお客様も増えてきて、こちらからお願いする時も皆さん快く引き受けてくださいます。焦ってしまわないように、なるべく早めから余裕を持ってイベントの準備にとりかかるとし、お客様同士や職員とコミュニケーションを取って楽しみながら取り組んでいます。

5つの【る】



# お客様に取り組んでもらっていること

## ～役割・社会参加～

### 塗る



イベント準備に参加していただく目的として、全ての項目に共通していることは...

①手指の巧緻性向上

②集中力の向上

③他のお客様や職員との

コミュニケーション

④役割の創出

この4つです。これら、認知機能の維持・向上や活動量の増加、QOL向上につながり、色々なお客様のケアプランの目標にもなっています。

共通目標に加え、『塗る』では「色覚」や「想起（花や野菜などの色を思い出す）」の訓練になり、『切る』『貼る』は「空間認識能力（物の大きさや空間、形状の理解）」の訓練となり、転倒予防にも繋がります。

『塗る』『切る』『貼る』の動作を組み合わせ、さらに各工程の方法、順序を理解し、作品を完成させる『作る』は①順序やパターンを覚える能力が低下している「失行」に対する訓練、②短期記憶に対する訓練、となっています。また、完成させた時に感じる「幸福感」は脳の活性化に有効と言われています。

最後の項目『飾る』は「紐を結ぶ」「テープを切る」「場所を決める」と他の項目同様に様々な要素が含まれています。他の項目にないものとしては、高い場所に手を伸ばす「肩の可動域訓練」「立位バランス訓練」、低い場所に取り付けるためにしゃがむことで「下肢の筋力強化訓練」などの全身運動も含まれています。

### 切る



### 貼る



### 作る



### 飾る



# ●イベント当日の様子

当デイサービスでは毎月趣向を凝らしたイベントを実施しています。基本的な流れとしては①リハビリ要素があるゲーム、②記念撮影会、③おやつタイム、④お土産となっております。どのイベントでもこの基本パッケージを中心に実施します。写真や動画撮影は、最初はおお客様も恥ずかしがりながらでしたが、今ではノリノリで撮影に応じてくださり、素敵な表情があふれています。今回は2023年3月に行った「春のチーズ祭り」の当日の様子や流れについて説明します。

## ①ピザ作りゲーム



ピザ作りゲームでは、職員とお客様が紙粘土や段ボールなどを使って事前にピザ作りの材料を作成しました。

まずはピザソースを選び、トングを使用してトッピングをします。具材が全て乗ったらへらにピザを乗せて釜の中へ。窯から取り出すと、焼きたてピザに見立てた次のゲームで使用するピザが登場します。

## ②チーズ伸ばし運動



黄色いセラバンドを伸ばるチーズに見立てたオリジナルピザで運動をします。右手で10回、左手で10回、数を数えながらピザ職人に扮した職員と一緒に、ピザを引っ張り合う上肢の運動です。麻痺等があるお客様も職員がフォローに入り、お客様全員がゲームに参加します。見て楽しい、やって楽しいリハビリを含んだゲームです。

## ③写真撮影会



今回のイベントでは、ゲーム終了後に、その場でゲームで使用したピザを食べているようなポーズで記念撮影をしました。大きな口を開けるのも、口の運動です。

イベントによっては手作り工作やイベント看板と一緒に記念撮影をすることもあります。

## ④おやつタイム



ゲームのあとはお楽しみのおやつタイムです。頑張ったあとにはしっかりとご褒美を。美味しいものを食べている時が皆さん一番良い表情をしてくれます。美味しいものを食べたいからイベントに参加するというお客様も多く、職員も一緒に美味しくいただいています。楽しいイベント実施でデイサービスの活性化を図っています。

# その他のイベントの様子 ～皆で楽しくリハビリが出来るレクリエーション～

## 静岡牧場のバター作りイベント



「バターづくりゲーム」として（乳を）絞る⇒（牛乳を）注ぐ⇒（蓋を）閉める⇒振るの4つの工程を楽しみながら実施。握力アップ！

## 静岡中央神社 初詣イベント



行事・風習を体験することで季節や月を確認。全身を使って鈴緒を振り、1年の健康祈願。フロアにはお客様が書いた絵馬が並びました！

## 静岡中央すこやかイベント



「ハンバーグ返しゲーム」のハンバーグはお客様の手作り。返す動作は前腕の運動になり、ADL向上に繋がります！イベント食は別腹です。





## ●最後に



これまでに紹介した取り組みを中心に、静岡中央デイサービスでは「お客様参加型イベント開催」を施設の強みとして日々活動をしています。ただデイサービスに通うだけでなく、ただリハビリをするだけでなく、そこに楽しみなどのポジティブな要素をプラスしてそれが付加価値となっていきます。

職員もお客様も一緒に頑張り、一緒に作りあげ、一緒に楽しみ、一体となって共有し合う、弊社の経営理念や行動指針などが具現化された取り組みです。**①目標に向けて努力した結果、成果が出る**（企画・準備・実施・イベントへの参加をイベントを楽しむ）。**②成果を生み出した結果、報酬が得られる**（ゲームへの参加や役割、社会参加、承認欲求が満たされ、イベント当日はおやつタイムや写真撮影会がご褒美になる）。**③報酬により精神的に満足する**（成功体験をもとに充実感、達成感を得られる）。**④満足した結果、さらに努力しようと思う**（次のイベントに向けて準備をしたり、やる気や自信に繋がり、デイに通いたいという意識向上にも繋がる）。

このようなサイクルが生まれ、職員やお客様のモチベーションアップ、デイサービスでの活動や生活リハビリを通してのお客様の要介護度の維持・改善に繋がっていきます。楽しさを引き出して、リハビリを日常生活に落とし込み、イベントという全員が参加しやすい機会を作って心身機能面へのサポートをしていき、創造・情熱・感動を共有し合い、生きがいの創出へと繋がっています。今後も楽しいデイサービス、通いたいデイサービスを目指して職員一丸となってお客様のために取り組んでいきます。

以上が、生活リハビリ静岡中央デイサービスの要介護度の維持・改善に向けた取り組みです。ありがとうございました。

イベント活動を含む  
生活リハビリを通じて、

①努力②成果  
③報酬④満足

のサイクルをまわして  
いくと…



役割の創出や社会参加、  
承認欲求が満たされて、

①心身機能面の維持・改善  
②モチベーションアップ

に繋がっていく。

